**令和5年度　事業計画**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人聖マリアの家

**基本方針**

* 子ども一人ひとりをかけがえのない存在として尊び、神さまから与えられた可能性が最大限

　に開花していくように保育を行う。

**☆**　子ども一人ひとりの個性や自発性を大切にし、お互いがさまざまな違いを乗り越えて共感し励まし合い、助け合いながら生きる共生社会の一員となる力を関わりの中で育む。

**☆**　保護者の国籍、信条、社会的地位によって差別することなく、家庭の良き相談相手となると

　　ともに、プライバシーを守り、良き協力者となる。

* 地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、地域で子どもを育てるより良い環境づくりに努める。

**Ⅰ本　部**

1. 理事会の開催

開催予定　年２回以上

議　　題　令和４年度事業報告及び決算の承認

令和５年度事業計画及び収支予算の承認

その他必要な事項

報告事項：理事長及び業務執行理事の職務の施行状況、保育事業、その他

1. 評議員会の開催

開催予定　定時評議員会　　６月

議　　題　理事及び監事の選任又は解任

計算書類及び財産目録の承認

その他必要な事項

1. 運営会議の開催

開催予定　原則毎月第３火曜日

議　　題　法人運営

その他必要な事項

1. 本年度の重点目標

（１）中長期計画の検討と作成

（２）地域福祉サービスの提供についての検討

（３）財政基盤の確立と業務の適正化

（４）人事制度の構築

**Ⅱ聖マリア保育園**

3年近く続いた新型コロナウィルス感染防止生活が緩和される事が想定される。今まで出来ていなかったマスクをはずしての会話、表情のコミュニケーション、異年齢児混合保育の再開やバイキング食事等コロナ以前の生活を踏まえて新たな生活に取り組んでいく。子ども達が保育園で生き生きと生活し、学び、本来身に付けていくことを改めて丁寧にみつめ、職員で共有し大事にしていきたい。

1. **児童の保育**

**（１）認可園児数**　　　　　１２７名

　　　　０歳児１２名 １歳児２２名 ２歳児２４名 ３歳児２３名 ４歳児２３名 ５歳児２３名

**（２）本年度月別予定園児数**



**（３）クラス編成**

　　　　

**（４）月別保育予定日数**



**（５）今年度の運営目標とその内容**

　　**ア　園の取り組みを全職員が理解した上でそれぞれの業務を行う。**

1. 運営規程、就業規則等を学習し、理解する。
2. 保育方針などを理解し、日々意識して業務を行う。
3. 保護者や外部の方より質問を受けた際、誰もが同じ方向性で応えることができるようにする。

　　**イ　保育園の在り方を理論、実践を通して常に追及する。**

1. 保育所保育指針を基盤に、全体的な計画を園内研修でも取り入れながら、保育園の役割や在り方について全職員で考え、「計画的な就学前教育」（生活の学び）を行う体制を強化する。
2. あそびを中心とした子どもの主体的な活動を通して子どもの面白がる姿を保育士等も一緒に面白がり、みんなで共有し、語り合うことから遊びこめる環境設定を考え続ける。
3. 研修体制を計画的に実施し、職員の意欲を高めるとともに、保育の資質の向上を図る。

**ウ　地域の子育ての拠点として、園の情報や知識等を惜しみなく社会への貢献に役立てる。**

1. 子育て支援事業の充実を図る。
2. 社会的な背景や園運営の両面から「子育て支援活動」の重要性と、保育園の役割について全職員が共通理解する。
3. 活動については、地域活動スタッフの呼びかけにより職員からの提案を積極的に受け入れ全職員が「子育て支援」に参加している意識を持ち、すすめていく。
4. 潜在的に不安を抱えている家庭が安心して相談できるツールとして、園を活用できるようにする。

（施設開放、子育て相談、育児講座、交流保育、絵本貸し出し等できることを行う）

**（６）保育理念**

**“「あなたがいて　わたしがいる」”カトリック精神に基づいて**

ひとは一人では生きていけない。ひとはつながりあって生きる力となる。

カトリック精神に基づき、自分を愛せるように、そしてひとを愛し、子どもが

毎日生き生きと遊ぶ中で感性を養い「豊かな人間性」「柔軟な心」が育つ基礎を

培っていく。

**（７）保育方針**

　　　　　○全ての子どもをかけがえのない人として尊び、愛をもってその命を守り、心と体の成長を育む。

　　　　　○子どもがひと、物、出来事に出逢い、関わることでうまれる「やってみたい」という

　　　　　　気持ちを尊重し、受け止め、応答する中で遊びや生活をつくる。

　　　　　（健康と安全に留意した環境の中で子どもが主体的に生活することにより、社会性や生活習慣の基礎を培う。）

　　　　　○保護者の声をよく聴き、気持ちに寄り添い、家庭のよき相談相手となるよう信頼関係を築く中で、共に子どもの育ちを支える。（子どもの視点に立った相互理解に努める）

　　　　　○地域の特性を踏まえ、関係機関との連携のもと（保育、幼児教育、子育て支援の拠点

　　　　　　として）それぞれの専門性を生かし、子どもと子育てに優しい社会を創る。

**（８）保育目標**

　　　　　〇食べる・眠る・あそぶ生活の流れの中で、伸び伸びとした心持ちで暮らす

　　　　　　心と体の元気な子ども

　　　　　〇愛され、あたたかな雰囲気の中で様々な人との関わりを重ね、自分も仲間も

　　　　　　大切にする子ども

　　　　　〇自然と文化との出合いの中で、その変化や多様さを豊かさを感じとり愉しんで

　　　　　　表現する子ども

**（９）SDGｓ（持続可能な開発目標17）について**

　　　　　〇保育園で出来る取り組みについて検討

　　　　　〇子ども達と職員がSDGSについて知り、考える

　　　　　〇取り組みを保護者や地域に発信出来る環境を整える

**（１０）中長期計画（５か年計画 令和５年度～令和９年度）の取組み**

①職員のモチベーションを高めて仕事が出来るよう総合的に職員の人財対策（確保・育成・定

着）に取り組む事。

②創設５０周年となる２０２５年に向けて、記念誌の作成等、記念の行事に関する事項について検討をすすめていく。

　　　③地域における子どもや家庭の福祉・教育に関する課題について、板橋区及び地元町会等と情報交換をより密にし、地域ニーズを把握し、新しいニーズへの対応を検討していく。

**（１１）主な行事予定**

　　　　4月　入園のつどい 、卒園生のつどい イースター 11月　　もちつき大会

　　　　7月　年長児宿泊保育　　　　　　　　　　　　　 12月　　クリスマスお祝い会

　　　　8月　かえるの会卒園生、夏祭り　　　　　　 　 1月　　　新年子ども会

　　　　10月　運動発表会　　 　　　　　　 3月　　　卒園を祝うつどい

※その他、子どもの日、七夕、すいかわり、お年寄りとの交流、節分、ひなまつり等四季、伝統行事を含め、園児、地域を対象とする行事などを行う。二重線は保護者参加。

　　　　※毎月　誕生会を行う。

5歳児ゆり組・・・水泳指導、書道教室　　4歳児すみれ組・5歳児ゆり組・・・木琴指導

※保護者懇談会は前期と後期で２回実施、個別相談は希望により随時おこなう。

　　　※保育参観、参加も随時受け入れる。

**(１２）保健計画、健康管理**

　　　　「元気で明るい子」を目指し、一人ひとりの子どもに応じて健康、安全に留意するとともに、全体の子どもの健康を保持し、安全を守れるようにする。また、保護者、地域の育児家庭に保健情報を伝える。

1. 病気の早期発見、感染予防に努める。
2. 身体的、精神的に快く過ごせるようにする。
3. 安全対策を図り、事故防止に努める。
4. 0歳児健診は園医による月１回、全園児健診は春と秋の年２回、
5. 耳鼻科検診は1歳児クラスから、歯科検診は4,5歳児クラスから年１回行う。
6. 新入園児健診は、入園時に行う。

　　　年間保健行事

|  |  |
| --- | --- |
| 保 健 行 事 | 　　　　　　　　対象年齢 |
| 　　内 科 健 診 | 0歳児組（月1回）、1歳児組以上（年２回）5歳児組園外保育前（年1回）新入園児入園前（１回） |
| 　　耳鼻科検診 | 1歳児組以上（年1回） |
| 　　歯 科 検 診  | 4,5歳児組（年1回） |
| 　　 |

**（１３）防災、防犯計画**

1. 防災訓練（火災を含む）は、月1回以上、総合訓練を実施
2. 水害を想定した避難訓練　　年２回
3. 保護者緊急連絡訓練（モバイル訓練）年３回　園児引き取り訓練　年１回
4. １７１災害伝言ダイヤル防災訓練　年１回以上
5. 防犯訓練　年５回
6. 入園証を発行し、不審者に対する保護者間の意識を強化
7. 安全チェックの実施・普通救命認定証取得維持(全常勤職員)
8. 園外避難実施訓練
9. 防災器具、備蓄飲食料、備蓄品の総点検

**（１４）リスクマネージメント**

1. ヒヤリハット報告に全園で取り組み、月１回各クラス代表による検討会を実施する（リーダー・献立会議時）。
2. アクシデントの要因や傾向の分析をし、全職員への周知を徹底すると共に、改善・予防策の考案に努めたい。
3. 子ども自身の身体能力や、注意力の発達に留意して、防止によりいっそう努める。また、リスクについて、職員間で検討する機会を増やす。

**（１５）食育計画、栄養管理**

1. 健康な生活を基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うために次の

活動を行う。

1. 食育計画、カリキュラムに基づき、年齢、月齢に合わせた食育を行う。
2. 旬のものを取り入れ、良質で安全な食材を購入する。
3. 夏季を除き、その日の給食の見本を展示する。
4. 保護者との連携を密にする。
5. 除去食は医師の指示に基づき、保護者と話し合い、個別に対応する。
6. 保護者と地域の育児家庭が求める調理情報を提供する。
7. 保健所への栄養管理報告書を年２回提出する。
8. 栄養目標量を年２回見直しする。

**（１６）特別保育**

1. 0歳児保育特別事業（0歳児取扱い人員：12名　生後57日以上）
2. 延長保育実施（0歳児の受け入れ・・・誕生日より開始）
3. 要支援児保育事業
4. アレルギー児に対する代替食実施
5. 年末保育実施　１２月２９日(金)・３０日（土）
6. 保護者の支援

子どもの育ちを考え、保護者からの相談・要求・苦情等はできるだけ複数の職員で共有する。職員間でも共通の認識を持てるようにし、新たな支援も含め対応できるように体制を整えていく。

1. 保育、保健、調理栄養についての相談及び講座
2. 保育への参加、見学
3. 保育園入転園相談　・法人便り年1回、園便り、保健便り、献立表は月１回
4. 苦情要望解決システムをより明確にし、保護者からの要望、苦情を受け止める。
5. 運営、施設整備、保育、給食、延長保育等アンケートを実施する。
6. 地域子育て推進事業

保育園の職員の専門性（保育士・栄養士・調理士・保健師）を生かした子育て支援を実施する。

1. 保育パートナー事業（地域の子育て家庭支援）についての検討を行う。
2. お年寄りとの交流、退所児童と園児との交流
3. 近隣小学生、他保育園児と当園児との交流
4. 小中高大学生までの育児体験とボランティアの受け入れ
5. 小学校低学年受け入れ・・・早朝学童、学童保育後の学童受け入れ。
6. 育児困難家庭への支援・・・相談及び公共機関とのコーディネート
7. ホームページ等を使用した広報活動
8. 保育士養成校学生、看護師養成校学生、調理専門学校学生、学校教諭等の実習受け入れ実習指導を計画的に行う。
9. 地域の中で必要な支援は何かをリサーチし検討していく。

４　職員

1. 職員数（４５名）

園長　１名、事務長　１名、保育主任保育士　１名、保育副主任保育士　１名、

保健主任　１名、給食主任　１名、給食副主任　1名

保育　３１名（資格有２３名）、看護師　1名、調理員　５名、短時間調理員　１名、

事務職員　１名、庶務・用務員　２名

1. 雇用形態別職員数



1. 健康管理

　・職員の健康診断は年１回以上、細菌検査は月１回以上行う。

1. 研修計画

　・保育指針を研究し、内容の理解と保育計画の改訂に通年で取り組む。

　・キャリアアップ計画及び職員一人一人の個人票を作成、目標と研修等の計画を策定する。

　・全職員に対する園内研修を充実させ、組織人としての人格及び能力の向上を図る。

　・東京都福祉人材センター、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、板橋区保育研修

及び日本カトリック保育施設協会研修等を柱に、全員が自主的に各々の研修課題を見つけ、研修に参加し研修報告会を行う。

　・救命技能認定資格を全員取るようにする。

　・会計、労務管理能力の向上を図る。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 月 | 　　　内　　　　容 | 講 　師 | 対　　　象 |
| 1 | 4月 | リズム体操・聖歌 | 園長:保育部主任 | 職員 |
| 2 |  | 就業規則等 | 園長・事務長 | 職員 |
| 3 |  | 怪我・感染症と保育園の対応 | 保健部主任 | 新人 |
| 4 |  | 社会人としての基本 | 保育部主任 | 職員 |
| 5 | 5月 | オンブ研修（さらし含む） | 保育士 | 職員（新人～５年目） |
| 6 |  | 乳児保育について・離乳食含 | キャリアアップ職員 | 職員 |
| 7 |  | 幼児保育について | キャリアアップ職員 | 職員 |
| 8 | 6月 | アレルギー除去について | キャリアアップ職員 | 職員 |
| 9 |  | 怪我・感染症と保育園の対応 | 保健部主任 | 職員 |
| 10 | 7月 | 振り返り保育実践研修（語り合う） | 園長司会・佐藤理事 | 職員 |
| 11 |  | 盆踊り講習会 | エイトの会 | 職員 |
|  |  | 保護者支援研修 | キャリアアップ職員 | 職員 |
| 13 | 8、9月 | 子どもの保育環境ついて | キャリアアップ職員 | 職員 |
| 14 | 10月 | カリキュラム見直し | 保育部主任司会 | 主任・副主任・クラスリーダー |
| 15 | 11月 | 地域のニーズを知る | 子育て支援職員・園長 | 職員 |
| 16 | 12月 | 園外研修発表 | 研修受講者３名 | 職員 |
| 17 | 1月 | 今年度の振り返り（計画等）次年度への事業計画立案 | 園長・事務長主任 | 職員 |
| 18 | 2月 | 園内研修発表 | 研修受講者3名 | 職員（キャリアアップ） |
| 19 | 3月 | 園内研修 | 園長・事務長等 | 職員 |

４月～９月・・・月一回　新保育所保育指針（ガイドライン）を用いて全体的な計画を

　　　照らし合わせながら確認していく。

退職金、福利厚生

　・福祉医療機構退職共済制度に加入する。（フルタイム職員の２／３以上の勤務実態がある職

員）

　　　・東京都社会福祉従事者共済会に加入する。（常勤職員採用後継続５年以上かつフルタイムの勤務者で希望する職員）

　・日本保育協会保育共済に加入する。（常勤職員雇用後１年以上かつフルタイムの勤務者で希

望する職員）

　・福利厚生センターに加入する。

1. 会議

・全体会議、主任会議、部門会議（献立会議、リーダー会議、支援室会議等）月１回以上行う。

・業務評価及び改善会議を年１回以上行う。

1. 施設整備及び管理

・水道管改修工事

**Ⅲ　　聖マリア塾子ども食事会**

　１　計画

　　　　　開催日・時間　：　毎週水曜日　１６：３０～１８：３０

場　　　　所　：　聖マリア保育園３階

　　　　　参　 加 　費　：　無料

２　内容

　　　　遊び　　スタッフを交え共にゲーム等をして遊ぶ。

　　　　学ぶ　　学校の宿題や勉強をする。

　　　　食べる　温かい食事を通じてコミュニケーションを深める。

３　対象者

　　　　小学１年生から中学生まで

（夜、自宅で孤食になる学習塾・塾習い事に行っていないお子さん）